

衆議院選11月7日 解散10月14日の

衆院選11月7日で調整

岸田氏解散今月14日軸

自民党の岸田文雄総裁は2日、衆院選の日程を「10月26日公示・11月7日投票」とする方向で調整に入った。

（荒谷健一郎、吉田隆久）

岸田氏は国会が召集される4日に新聞記者会見を予定し、8日の所信表明演説を経て、11月13日に各党の代表質問に応じ、解散する見通しだ。

衆院選の投票日は解散から40日以内と定められ、11月14日なども可能。総裁選で

数千人規模の経済対策を掲げた岸田氏は、新型コロナウイルス対応の2021年度補正予算案の年内成立を目指しており、選挙を急ぐべきとの判断に傾いている。

一方、岸田氏は10月30、31日にイタリア・ローマで開かれる20カ国・地域首脳会議(G20サミット)に出席する意向で、公示後の外遊な

ら異例。選挙の陣頭指揮に専念するなら投票日を11月14日にする選択もある。岸田氏は2日、官房長官

に起用する松野博一・元文部科学相らと党本部で人事に加え、衆院選日程についても協議した。出席者による

も、11月7日でも14日でも補正予算案の年内成立は可能だと確認した一方、投票日を早めに行い、日程に余裕を見ることが重要だと

述べた。野党は国会で衆参両院の予算委員会開催を要求しているが、与党は応じな

い見通し。

幼児の転落防止 窓に補助錠を

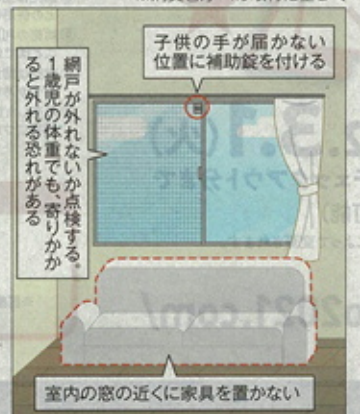
札幌で死亡事故相次ぐ

道警によると、札幌市白石区内のマンションで9月23日夜、男児が9階の子供部屋の窓から約25メートルの高さから落下し、死亡した。窓には補助錠の付いた窓枠があり、床から約1.2メートルの高さになる物はない。男児は自ら補助錠を開け、窓を開け、落下したとみられる。4月に札幌市清田区内の住宅3階から男児が転落死した事故では、3階の窓の近くに折り畳んだ布団があり、男児は布団に登り、窓から落ちた可能性が高いという。

専門家「見守りだけでは限界」

8月までで、清田区の事故の1人を含む計6人に上った。窓には補助錠の付いた窓枠があり、床から約1.2メートルの高さになる物はない。男児は自ら補助錠を開け、窓を開け、落下したとみられる。4月に札幌市清田区内の住宅3階から男児が転落死した事故では、3階の窓の近くに折り畳んだ布団があり、男児は布団に登り、窓から落ちた可能性が高いという。

子供の転落事故を防止するポイント ※消費者庁への取材に基づく



「事故があると『子供から目を離したから』と考えがちだが、ずっと見守るのは不可能。事故は一瞬で起きかねず、見守りだけでは防げない」と強調する。建築基準法は、ベランダの手すりの高さは110センチ以上と定める。ただ、同研究所などによる検証実験では、4歳児の8割超が高さ110センチの壁を1秒ほどで登った子もいたという。予防に有効なのは、窓の上部に補助錠を付けることだ。子供の手の届かない位置に付け、窓を開けられなくしたり、開く幅を制限したりする。補助錠はホームセンターなどで購入できる。補助錠の設置は、子供がよじ登って欄干を乗り越える恐れがあり、高さや形状に注意が必要という。消費者庁は、転落事故は子供が歩けるようになると、一層警戒が必要とし、対策イラストを呼び掛けている。

「会期末解散すべきだ」

公明・山口代表道10区入り

公明党の山口那津男代表は2日、岩見沢市内で記者会見し、政治を進めるため、党団に対し「4日召集される臨時国会の新首相の所信表明と代表質問で各党の主張が出そろった」と述べ、14日の会期末で衆院を解散すべきとの認識を示した。

山口氏は岩見沢市、滝川市、留萌市で、次期衆院選道10区(空知、留萌管内)に出馬予定の同党の稲津久衆院議員とともに街頭演説した。岩見沢市内では「自



山口那津男代表は2日、岩見沢市内で記者会見し、政治を進めるため、党団に対し「4日召集される臨時国会の新首相の所信表明と代表質問で各党の主張が出そろった」と述べ、14日の会期末で衆院を解散すべきとの認識を示した。

渡辺氏 比例上位に期待

自民党の岸田文雄総裁の誕生を受け、岸田派所属で衆院道10区(空知、留萌管内)を地盤とする渡辺孝一衆院議員(63)は比例代表ブロックと支持者が、次期衆院選での4回連続の比例単独上位処遇に期待を高めている。公明党も渡辺氏が上位処遇されれば、道10区に出馬予定の稲津久衆院議員(63)への自民党からの支援が強固になるとみる。また、自民党道連内では小選挙区候補の比例復活の道が確るとへの反発も強く、公示直前の党本部断りに注目が集まる。

「岸田総裁は自公政権を守り、日本のかじ取りをすると言っていた。渡辺氏は2日、滝川市内の街頭演説で自公協力の必要性を強調。稲津氏も同様の訴えを行った。双方とも渡辺氏の処遇には言及しなかったが、渡辺氏は「岸田総裁誕生で上位処遇の可能性が高まった」と喜びを浮かべた。

渡辺氏は2012年に10区区長に就任したものの、党本部判断で稲津氏に10区を譲り比例単独上位となった。比例復活は2回までという原則がある中、渡辺氏は3回連続で単独上位処遇された。道連内では「比例は小選挙区で惜敗した人のために今回も困難」との見方が支配的だった。岸田氏は6月に岩見沢市を訪れた際、渡辺氏の支持者から上位処遇を求められ「全力で支える」と答えており、渡辺氏支持者は比例復活への期待が広がる。とはいえ自民が優勢なのは道内選挙区のうち3選挙区で、ほかは接戦や劣勢とされる。道連は9月、党本部に比例の扱いの判断を求めた。岸田氏が自派の議員を優遇したら逆に立場が悪くなる」として渡辺氏が比例下位に収まるとみる向きは少なくない。公明側は渡辺氏の優遇で自民支持者に稲津氏支援の力を入れてほしいと認めたが「他の選挙区は自民関係者を敵にしたいくない」と自民には強く働きかけていない。自民幹部は「状況を見極め判断する」としつつ、(村田英、小宮実秋)

道連内で反発も 総裁派閥に所属